



特定非営利活動法人気候ネットワーク 2012年度事業報告

○2012年度の活動について

2011年3月11日の大震災と東京電力福島第一原子力発電の事故から1年以上が経過し、エネルギー政策の転換が実施されるべきところ、方向が定まらず、停滞してきた。本来なら、エネルギー転換と同時に地球温暖化対策を促進すべきところ、社会の関心が薄れている。

カタールのドーハで開催されたCOP18/CMP8では、京都議定書第2約束期間の開始と2020年に向けた包括的な合意があった。しかしながら、日本は第2約束期間の数値目標はもたず、世界の気候変動交渉において前向きに貢献できない状況である。

国内の政策は、2012年11月の再度の政権交代によって、温暖化対策が大きく後退する状況になっている。深刻さを増している温暖化防止に向けて、温暖化問題への関心を高めること、再生可能エネルギーの普及の仕組みづくり、低炭素開発戦略づくり・モデルづくりを一体として進めることが必要となっている。

NPO法の改正により認定NPOの要件が変更されたことから、気候ネットワークは、2012年11月に認定NPO法人に認定された。京都府所管としては、1番目の認定であった。

1 国際交渉対応

ダーバンでの合意からドーハでの交渉を進展させるため、一連の国際会議（SB、AWG、ADP、COP18/CMP8）に参加し、Kikoの発行、ロビー活動等を行った。CANインターナショナルの理事を務めるなど、国内外の他のNGOとも連携して活動に取り組んだ。昨年度開催された関連会議は次のとおり。

SB、AWG、ADP：ドイツ・ボン、5月14日～25日＜不参加＞

AWG、ADP：タイ・バンコク、8月30日～9月5日

COP18/CMP8、SB、AWG、ADP：カタール・ドーハ、11月26～12月7日

2 国内対策対応

脱原子力と温暖化対策の両立を達成するための提案、アピール、働きかけを進めた。法律の制定、大幅削減の中長期目標の設定、包括的な法律の成立、効果のある政策の導入、地域の対策促進を進めた。国全体では、2020年の目標、エネルギー戦略の見直しなど政策の後退に対する活動を行った。政策形成プロセスについても提案を行った。他団体と連携して「原発ゼロノミクス」「Don't go back to the 石炭」を進めた。

3 地域関係

地域レベルでも、大幅削減のビジョンを持ち、削減が担保できる仕組みづくりや、低炭素の地域づくりに関する活動に取り組んだ。自治体の条例・計画に関する調査・研究・政策提言、各セクターの削減可能性の調査・研究と関連する実践活動も行った。

低炭素の地域づくり戦略会議：他のNGO、自治体等と連携し、8カ所（釧路市、浜中町、市川市、奈良、岡山、高知、内子町、福岡）で戦略会議を開催し、それぞれの地域で協働による低炭素の地域づくりに向けた検討を行った。

再生可能エネルギー普及・市民共同発電所づくり等に取り組む組織・人からの情報に関するニーズが高く、情報共有・アドバイスに取り組んだ。

冊子「地域資源を活かす低炭素地域づくり」ハンドブック（A4版、35ページ）を作成した。

自治体アンケートの実施。全都道府県・全政令指定都市・関西圏の全市町村を対象として、温暖化対策についてアンケート調査を行った。

4 セミナー・シンポジウム等

国際交渉・国内対策等の動向にあわせて、情報共有・意見交換をおこなうシンポジウム等を開催した。震災から市民の関心が高まったエネルギー問題を中心的なテーマにして、政策に反映するためのディスカッションの場を提供した。

セミナー・シンポジウム(主催・共催)	日程	実施場所	参加人数
(主催) 特別シンポジウム わたしたちが選ぶエネルギー・気候変動対策	6月2日	東京	200人
(共催) 気候変動に関するボン会議 報告会 ～2012年の国際交渉が開幕～	6月14日	東京	100人
(共催) 政府のエネルギー・環境に関する「選択肢」を問う！ ～気候変動の観点から見た問題点～	7月2日	東京	100人
(主催) シンポジウム 地域発！わたしたちが選ぶエネルギー政策	7月15日	京都	100人
(共催) 「温暖化から考えるエネルギーの選択」 気象キャスター木原実さんと一緒に、安心して安全なエネルギー選択を考えよう！	7月22日	東京	170人
(共催) 「エネルギー・環境に関する選択肢」についての政府との意見交換会	8月6日	大阪	60人
(主催) ◆モントリオール議定書25周年・シロクマからの警告◆ 知ってる？今、増えているフロンのこと。これから必要なフロン対策とは？	9月16日	大津	30人
(共催) 気候変動に関するバンコク会議 報告会 ～COP18に向けて交渉は進展したのか～	9月21日	東京	60人
(主催) ◆モントリオール議定書25周年・シロクマからの警告◆ 知ってる？今、増えているフロンのこと。これから必要なフロン対策とは？	10月17日	宮城	30人
(主催) 気候ネットワークシンポジウム 市民が進める温暖化防止2012 ～“グリーン”な未来への転換に向けて～	11月3日 4日	京都	350人
(共催) COP18・COP/MOP8を前に ～気候変動政策について今後重要なこととは～	11月16日	東京	70人
(主催) ◆モントリオール議定書25周年セミナー◆ シロクマからの警告 知ってる？今、増えているフロンのこと。これから必要なフロン対策とは？ (兵庫)	12月14日	兵庫	30人
(共催) 国連気候変動会議COP18・COP/MOP8報告会	1月11日	東京	170人
(主催) ドーハ会議 (COP18/CMP8) 報告会【京都】 ～京都議定書と日本の温暖化対策の行方～	1月17日	京都	50人
(主催) フロン対策シンポジウム ～ノンフロンの新しい時代に進むために～	2月1日	東京	80人
(主催) 気候ネットワーク連続セミナー 「低炭素なまちづくりを目指す自治体の取り組み」	3月19日	京都	30人

セミナー・シンポジウム(開催協力等)	日程	実施場所	参加人数
eneyan エネルギーを考える若者の集い	5月12日	京都	30人
連続セミナー「日本のエネルギー政策の基本問題」 「どうする！日本の環境・エネルギー政策」	6月8日	東京	100人
クライメットJ・トークイベント “climate-J stand Vol.8 ～日本に緑の党は生まれるか？～”	6月13日	東京	50人
FIT直前！市民が広げる自然エネルギー 自然エネルギー学校・京都 フォローアップ講座	6月16日	京都	30人
未来のエネルギーはどれ？ 『選択肢』に関する政府との意見交換会	7月19日	東京	150人
ー持続可能な社会をめざしてー 福島から考えるエネルギー・環境の未来 「自主的意見聴取会」	7月20日	福島	30人
未来のエネルギー・環境政策について考える 自主的意見聴取会	7月24日	東京	150人
セミナー「原発も温暖化もない未来を創る」	8月29日	東京	70人
ママのための自然エネルギーカフェin京町家 映画「シェーナウの想い」無料上映会 ～子どもたちのために、エネルギーについて考えよう～	9月28日	京都	10人
環境保全戦略講座（地球温暖化防止分野） 地球温暖化交渉で活躍する人材養成・ネットワークづくり ～COP参加ノウハウ・情報収集・政策提言を学ぶ～	10月27日、 28日	東京	30人

5 助成・委託関係

地球環境基金の助成により、低炭素の地域づくり普及による国内対策・国際交渉推進活動（地域戦略会議、セミナー・報告会・シンポジウム開催、国際会議への参加、ハンドブックの作成等）を行った。

その他に、フロン公益財団からの助成でフロン排出抑制対策に関する活動を行った。

自治体等からの受託事業として次の事業を行った。

- ・ 京都市内：こどもエコライフチャレンジ、インターネット版環境家計簿業務、自然エネルギー学校・京都2012、自然エネルギーカフェ
- ・ 大阪府八尾市市民会議コーディネート事業
- ・ 地球環境基金環境保全戦略講座（地球温暖化防止部門）
- ・ オフセット・クレジット制度調査
- ・ 日本環境学会事務事業
- ・ Do You Kyoto ボードゲーム制作協力
- ・ 名古屋市省エネ・自然エネルギー推進調査

6 組織強化・人材育成

組織基盤強化の一環として、京都府に申請し認定NPO法人の認定を受けた。サービスグラント・プロボノの協力を得て、会員の増加、寄付の拡大をはかるための事業計画を

検討した。京都地域創造基金やその他の寄付制度とも連携しているが、ファンドレイジングの具体的な成果は上がっていない。

立命館大学、オランダハーグ大学、アメリカデューク大学からインターンを受け入れ、ボランティアとともに活動の活性化と人材育成に取り組んだ。

7 その他

国内外の温暖化政策・対策・先進事例等に関する調査・研究。ホームページの改訂・充実。気候ネットワーク通信（隔月）、メールニュースの発行。他のNGOやネットワーク、地域組織等と継続的な支援・連携活動を行った。

他の研究者との協働で、『先進例から学ぶ再生可能エネルギーの普及政策』（本の泉社）、『原発も温暖化もない未来を創る』（コモンズ社）を出版した。